



ACCADEMIA NAZIONALE
DI SANTA CECILIA
Fondazione

ORCHESTRA DELL'ACCADEMIA NAZIONALE DI SANTA CECILIA ROMA

ローマ・サンタ・チェチーリア国立管弦楽団



2014年
11/7(金)19:00
サントリーホール

Friday, November 7, 2014 at 7 p.m.
Suntory Hall

ヴェルディ:
オペラ《ルイザ・ミラー》序曲
Verdi: "Luisa Miller" Sinfonia

ドヴォルザーク:
チェロ協奏曲 口短調 op. 104
(チェロ: マリオ・ブルネロ)
Dvořák: Cello Concerto in B minor op. 104

ブラームス:
交響曲第2番 二長調 op. 73
Brahms: Symphony No. 2 in D major op. 73



©Musacchio Ianniello

2014年
11/11(火)19:00
サントリーホール

Tuesday, November 11, 2014 at 7 p.m.
Suntory Hall

ロッシーニ:
オペラ「セビーリヤの理髪師」序曲
Rossini: "Il Barbiere di Siviglia" Sinfonia

ブルッフ:
ヴァイオリン協奏曲第1番 短調 op. 26
(ヴァイオリン: 諏訪内晶子)
Bruch: Violin Concerto No. 1 in G minor op. 26

R. シュトラウス:
アルプス交響曲 op. 64
R. Strauss: Eine Alpensinfonie op. 64



チェロ: マリオ・ブルネロ
Mario Brunello, Cello

指揮: アントニオ・パッパーノ
Antonio Pappano, Music Director

[両日共]
S¥28,000 A¥23,000
B¥18,000 C¥13,000
D¥9,000 プラチナ券¥33,000



©Leslie Kee

ヴァイオリン: 諏訪内晶子
Akiko Suwanai, Violin



イタリア的美点によるドイツ音楽。そこに生まれる新鮮な楽しみ!

アントニオ・パッパーノとローマ・サンタ・チェチーリア国立管弦楽団は2013/14年のシーズンも好調なスタートを切ったようだ。同管とはここ数年、とりわけロッシニやヴェルディの音楽を通して自らのイタリア人気質を追求してきたパッパーノだが、2013年はそれに加えて生誕100周年を迎えた英国の作曲家ベンジャミン・ブリテンに光をあててきた。昨夏のザルツブルク音楽祭での「戦争レクイエム」(独唱:ネトレブコ他)に続いて、10月には本拠地ローマでの新シーズンをオペラ《ピーター・グライムズ》(演奏会形式)で開幕した。

今季のサンタ・チェチーリア管はブラームスにも重点的に取り組んでおり、パッパーノはヴァイオリン協奏曲(独奏:カヴァコス)、および交響曲第1番と第2番を取り上げる。オーケストラの100年以上の歴史において多くの指揮者がブラームスを振っており、元音楽監督のガッティヤチオン・ミュンフンらもこのレパートリーで名演を残してきた。パッパーノはどんな解釈をもたらしてくれるのだろうか。

来日プログラムで目を惹くのは、2014年のリヒャルト・シュトラウスの記念年にちなんだ「アルプス交響曲」。イタリアのオーケストラでなぜシュトラウス?と思われる方もいるかもしれないが、たまにはイタリア側からアルプスに登ってみるのも景色が変わってよいのではないだろうか。またチェリスト、マリオ・ブルネロとのドヴォルザークのチェロ協奏曲はすでにCDでも定評を得ている。いずれにせよ、カンタービレと多彩な音のパレットを特色とするパッパーノとサンタ・チェチーリア管がこうしたドイツ系の曲目をどう料理してくれるのか、新鮮な楽しみがある。

後藤 菜穂子(音楽学 / ロンドン在住)

ローマ・サンタ・チェチーリア国立管弦楽団 Orchestra dell' Accademia Nazionale di Santa Cecilia, Roma



©RMusacchio and Flannello

1908年創設。イタリア最古・最高のシンフォニー・オーケストラで、マーラーやドビュッシー、R.シュトラウスやストラヴィンスキーも指揮台に立っている。レスピーギ「ローマの噴水」は同団が初演。特に2005年にパッパーノが音楽監督となってからの躍進は目覚ましく、07年の来日公演は「鳥肌が立つ鮮やかさで音が立ち上がり、一瞬でモノクロがカラーとなったような衝撃」と評され、聴衆に大きなインパクトを与えた。2010年の英国「クラシックFM」誌では世界のトップ10オーケストラに選ばれ、レコーディングも多い。最新CDは今年録音されたヴェルディ「聖歌四篇」とブリテン「戦争レクイエム」。

アントニオ・パッパーノ(指揮) Antonio Pappano, Music Director



©Laurie Lewis

1959年イタリア人の両親のもとロンドンに生まれる。弱冠32歳でモネ劇場の音楽監督となり、93年にドホナーニの代役としてウィーン国立歌劇場で《ジークフリート》を指揮、一躍注目された。以来メトロポリタン歌劇場やバイロイト音楽祭などに立て続けにデビュー。2002年に英コヴェントガーデン王立歌劇場の、05年にはサンタ・チェチーリア管の音楽監督となった。シカゴ響、ボストン響、ベルリン・フィル、コンセルトヘボウ管、ロンドン響なども客演する、現代を代表する名指揮者のひとり。イタリア共和国功労勲章を受章。

マリオ・ブルネロ(チェロ) Mario Brunello, Cello



©堀衛

1986年チャイコフスキー国際コンクール優勝。イタリアを代表するチェリストとして、ムーティ、ゲルギエフ、メータらの指揮のもと、フィラデルフィア管、ミュンヘン・フィルなどと共演している。アバドと親交が厚く、ルツェルン祝祭管弦楽団の首席奏者としても度々招かれた。J.S.バッハから、ベートーヴェン、ブラームス、現代作品までレパートリーは幅広く、独創的な活動を続けている。昨シーズンにパッパーノ指揮サンタ・チェチーリア管と録音したドヴォルザークのチェロ協奏曲のCDは絶賛された。使用楽器は1600年代製作の「マジニー」。

諏訪内晶子(ヴァイオリン) Akiko Suwanai, Violin



©Kiyotaka Saito

1990年史上最年少でチャイコフスキー国際コンクール優勝。これまでに小澤征爾、マゼール、メータ、デュトワ、サヴァリッシュらの指揮で、ボストン響、フィラデルフィア管、パリ管、ベルリン・フィルなど国内外の主要オーケストラと共演。国際音楽祭にも多数出演している。2012年には日本で4年ぶりとなるリサイタル・ツアーを行って大成功を収めたほか、エリザベート王妃国際コンクールのヴァイオリン部門で審査員を務めた。昨年から、「国際音楽祭NIPPON」を企画し、芸術監督を務めている。使用楽器は、日本音楽財団より貸与された1714年製作のストラディヴァリウス「ドルフィン」。

アントニオ・パッパーノ指揮 サンタ・チェチーリア国立アカデミー管弦楽団&合唱団



ヴェルディ生誕200年のアニヴァーサリーを祝う宗教合唱作品 好評発売中!

聖なるヴェルディ 聖歌四篇/リベラ・メ/アヴェ・マリア



マリア・アグレスト
(ソプラノ)

録音: 2012年11月
2013年5月
[SACD (ハイブリッド)]
WPCS-12626
¥3,000 (税別)
輸入盤通常CD
9999-84524

ブリテン生誕100年記念の年一作作曲家へのトリビュートとしての最新録音 好評発売中!

ブリテン: 戦争レクイエム



アンナ・ネトレブコ
(ソプラノ)
イアン・ホストリッジ
(テナー)
トーマス・ハンブソン
(バリトン)
録音: 2013年6月
[SACD (ハイブリッド)]
WPCS-12627
¥3,000 (税別)
輸入盤通常CD
9999-15448

<http://wmg.jp/classic/>

DECCA Akiko Suwanai

公演曲目
収録!



ブルッフ: ヴァイオリン協奏曲第1番 スコットランド幻想曲

諏訪内晶子(ヴァイオリン)
アカデミー・オブ・セント・マーティン・イン・ザ・フィールズ
指揮: サー・ネヴィル・マリナー

録音: 1996年7月
SHM-CD UCCP-9628 定価¥2,940 (税抜価格¥2,800)
税率(5%)に基づく税込価格を表示しています。



<http://www.universal-music.co.jp/classics/> 発売・販売元: ユニバーサル ミュージック合同会社

チケットのお申込み

カジモト・イープラス

検索

<http://kajimotoeplus.com/>

カジモト・イープラス 0570-06-9960

※音声自動応答で承りますが、オペレーター(10:00~18:00)もご選択いただけます。ホームページからお申込みいただけます(パソコンもケータイも同じアドレス)。

0570で始まるナビダイヤル番号は、PHS、IP電話など一部の回線からは接続されない場合がございます。NTT加入電話、公衆電話などをご利用願います。

チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード: 218-277)
e+(イープラス) <http://eplus.jp/>
CNプレイガイド 0570-08-9990
ローソンチケット 0570-000-407
サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017

Twitter @kajimoto_News

Facebook <http://www.facebook.com/kajimotomusic>

Tumblr <http://kajimotomusic.tumblr.com>

便利なケータイサイトもぜひご利用ください。
iモード・EZweb・Yahoo!ケータイ 対応
チケットもご購入いただけます。

カジモト・イープラス

一般発売: 2/22(土) 10:00~



カジモト・イープラス会員限定先行受付: 2/13(木) 12:00~2/17(月) 18:00 先行受付専用番号 TEL: 0570-06-9969[10:00~18:00(初日のみ12:00より受付)]

●やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる場合がございますが、出演者・曲目変更などのために払い戻しはいたしませんのであらかじめご了承ください。
●未就学児のご入場はご遠慮いただいております。●団体料金の設定のある公演もございます。詳しくはお問合せください。